



# つばさ・アトムっ子

## 2014年 9月号



### 今月の行事



5日 (金)	18:30~20:30	きりん・すいか懇談会
6日 (土)	9:00~11:00	きりん・すいか懇談会
12日 (金)	18:30~20:30	うさぎ・ばなな懇談会
13日 (土)	9:00~11:00	うさぎ・ばなな懇談会
19日 (金)		お誕生日会
21日 (日)		休園日 (職員中間総括全体会議)
26日 (金)	18:30~20:30	うさぎ・ばなな懇談会
27日 (土)	9:00~11:00	うさぎ・ばなな懇談会

### 新アトム園内へ道具搬入ご協力をお願い

10月25、26日の両日、新アトム園舎内へ道具等を搬入する予定です。  
都合のつく方は、ご協力よろしくお願ひします。  
詳細は、後日お知らせします。

### 台風シーズン到来!!

台風シーズン到来ですが、つばさ共同保育園では、どの警報でも開園しています。警報発令でお迎えの連絡をさせて頂くことはありませんが、公共機関の停滞や遅延が予想される場合は各家庭で判断して、早めのお迎えや園への連絡をお願いします。

### ♪つばさが丘西夏祭りに 参加しました♪

卒園児やアトムっ子たちも久しぶり～って声をかけてくれました。  
オープニングを飾った五歳児たち↓



夏祭りの看板を子どもたちで作り、設置しました→



仲嶺 真弓

8月23日(土)につばさが丘西地区の夏祭りがありました。天気予報は雨で、開催が危ぶまれましたが、予定通り無事終わり何よりでした。子どもたちのオープニングも夏祭りを盛り上げてくれ、地域の人たちにも好評でした。思い起こせば、夏祭りに本格的に参加したのは、昨年に引き続き2回目となります。つばさ共同保育園が開園した初年度は、何かお手伝いできることがあればと自治会の方に電話で問い合わせしてから一森・谷野が会場に行きました。突然の依頼に自治会の方も戸惑われたようで、とりたてて手伝うこともなく、会場の隅で様子を見守ることしかできませんでした。2年目は年度初めから声を掛けさせていただき、実行委員会に一森・仲嶺が参加しました。保育園でできることを実行委員の方にも一緒に模索し、考えて頂きました。結果、子どもたちには夏祭りの看板製作とオープニングの出番を、職員は夏祭り会場の整備、設営、後片づけなどの力仕事協力という形で参加しました。この年は雨で、子どもたちのオープニングは中止となり残念でしたが、少しは地域に貢献でき、地域の方とも繋がりが持つことができた手ごたえを感じ、嬉しかったことを覚えています。

3年目の今年は、一森・志賀・谷野が主になり、昨年と同様の内容で参加協力しました。今年の夏祭りは、職員も地域の方もお互い緊張度は少し和らぎ、お手伝いできることも増え、人となりの距離が近くなったように感じました。そして同時に、準備から当日にかけていろんな人との出会いや繋がりを感じる出来事が幾つもあり、心に残る夏祭りとなりました。とても心温まる出来事ばかりだったので、つばさ・アトムっ子に書き留めておくことにしました。+1つ目は、準備の草刈りの時に、保育園とは関わりがないという年配の方が、「何十年も前からつばさに保育園が来るのを待っていたのよ。自分は利用できなかったけれど、今、若い人たちがこんな近くに保育園があって利用できることはとても素敵なことで嬉しいです。」という気持ちを伝えてくれました。2つ目は、夏祭り当日の朝に、開園1年目にボランティア体験で来てくれた学生さんのお母さんが当時のことを思い出して声をかけてくれました。「当時、どの道(職業)を目指すか本人はすごく悩んでいたのだけれど、つばさにボランティアに行くと子どもと遊び、職員の方の話を聞いて、自分の目指すべき方向性を決めたようです。フラフラしていたのに、自分の中でしっかり選択できてからは、進路も決まりその道を突き進んでいます。本当にいい体験をさせてもらってありがとうございました。」3つ目は、つばさ職員がお手伝いしていた焼きそばブースに、アトムっ子OBの中学生も応援に来てくれて



いたのですが、彼は自分が今抱えている問題を何とかしたくて、何か見つかるかもしれないからと夏祭りを手伝いに来ていました。私はその話を聞いて、何かを見つける為にと行動起こしたという彼の話しに涙が出るほど感動しました。それは、アトムっ子であった時期のかつての彼の姿からは想像できない成長を感じたからです。4つ目は、そのアトムっ子OBの彼の姿を見つけた同じクラスの同級生が「何でこんな所に居てるん?」と言いながら彼の横にやって来ました。一森が「よかったら手伝ってよ。」と声を掛けると、快く手伝ってくれました。何気ない小さな出来事だけれど、こんな風に繋がっていく関係もあることに心が温かくなりました。

ほんの僅かな日々の中で、こんなにも心に残るエピソードがあり、地域の中でこそ育まれることがある。その地域の繋ぎ役の1つに保育園も存在している。そんなことに気付かせてくれた2014年の夏祭りでした。

## 夏休みアンケート(事前調査・お休みご協力) ありがとうございました。

出席予定人数	13日 117名	14日 105名	15日 111名	16日 50名
実際の出生児童数	13日 71名	14日 53名	15日 56名	16日 33名

と残念ながら、前日や当日の休みが多く、事前調査数と大きく隔たりがあり、多くの残食を出してしまいました。事前にお休みが分かっていた連絡が忘れていた家庭は次回(年末)もあります。ぜひご協力をお願いします。子どもたちの元気の源となる給食の食材について給食室のページでも詳しく書いています。ぜひ、読んでみてください。